

近畿学校保健学会通信

No. 75

平成5年5月20日発行
近畿学校保健学会事務所
〒520 大津市平津2丁目5-1
滋賀大学教育学部健康学研究室内
TEL 0775-37-7795, 7726
振替口座 京都 6-77589

第40回 近畿学校保健学会案内

(下記のように、学会を開催します。関心のある方は、どなたでも参加できます)

主催	近 畿 学 校 保 健 学 会	協賛	和 歌 山 県 医 師 会
後援	和歌山県教育委員会		和歌山県歯科医師会
	和歌山市教育委員会		和歌山県薬剤師会
			和歌山市医師会

会 長 猪尾和弘 (和歌山大学 教授)

事務局長 官西照夫 (和歌山大学助教授)

〒640 和歌山市栄谷930

和歌山大学保健管理センター

第40回近畿学校保健学会事務局

TEL (0734) 54-5916(直通)

FAX (0734) 54-5917

郵便振替 (番号) 大阪 3-130787

(名称) 第40回近畿学校保健学会事務局

日 時 平成5年6月12日 (土) 9:00~17:10

会 場 和歌山大学教育学部附属小・中学校

〒640 和歌山市吹上1丁目4-1

会 費 正 会 員 : 年会費3,000円(既納者は不要)

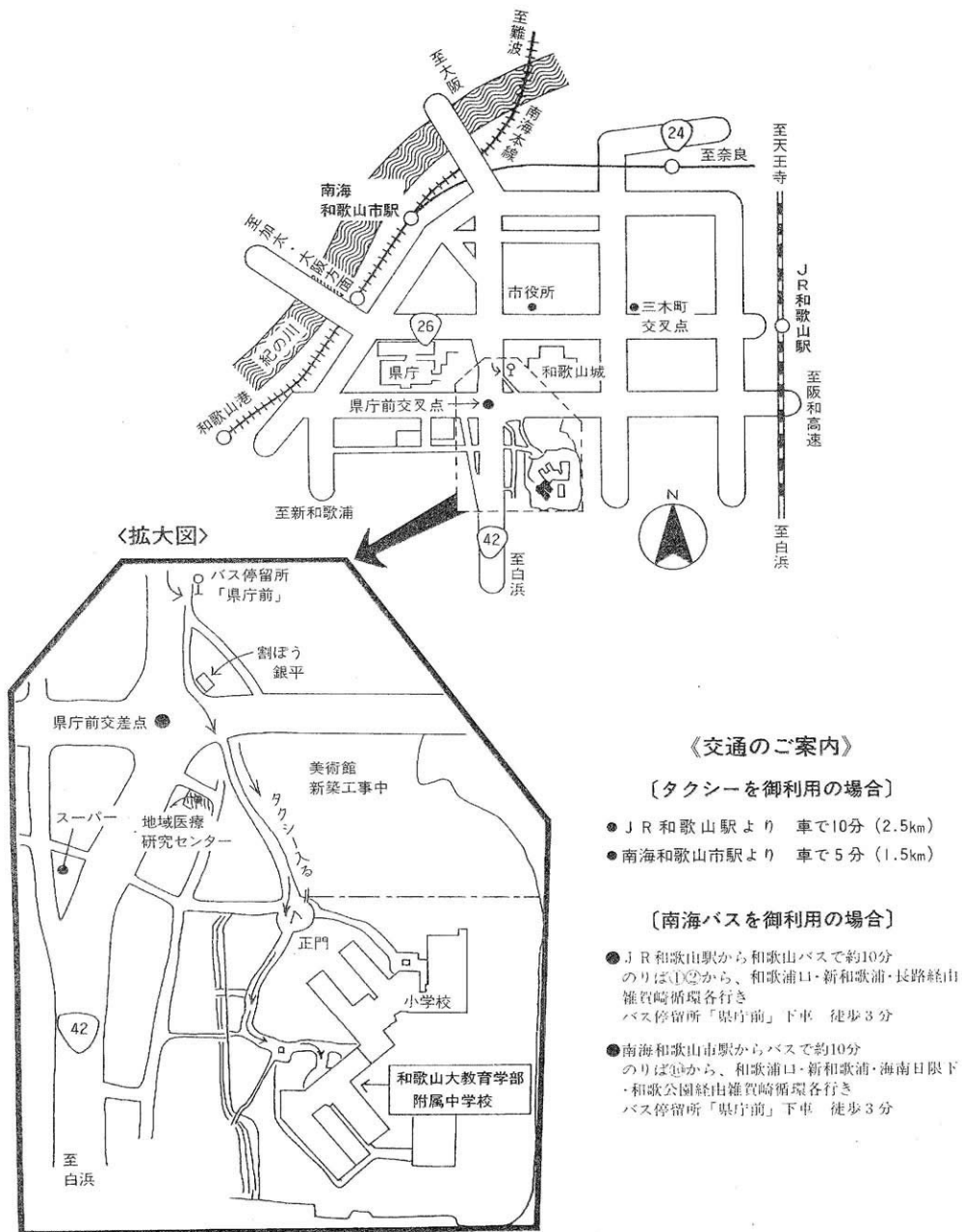
当日会員 : 参加費2,000円(資料代を含む)、(学生 1,500円)

公開討論会のみへの参加者 : 500円(資料代)

評 議 員 : 評議員には昼食を用意致しますので、代金 1,500円をいただきます。

懇親会費 : 4,000円…和歌山県地域医療研究センター 2 F

和歌山大学教育学部附属中学校（会場） 最寄り駅 及び道順 案内図



《交通のご案内》

〔タクシーを御利用の場合〕

- J R 和歌山駅より 車で10分 (2.5km)
- 南海和歌山市駅より 車で5分 (1.5km)

〔南海バスを御利用の場合〕

- J R 和歌山駅から和歌山バスで約10分のりば①②から、和歌浦口・新和歌浦・長路経由 雑賀崎循環各行き
バス停留所「県庁前」下車 徒歩3分
- 南海和歌山市駅からバスで約10分のりば③④から、和歌浦口・新和歌浦・海南日限下・和歌公園経由 雑賀崎循環各行き
バス停留所「県庁前」下車 徒歩3分

運営についてのご連絡

・参加者へ

1. 受付

- (1) 会費既納者……受付で府県名、氏名をお申し出いただき名札をお受け取り下さい。
- (2) 会費未納者……受付で記入票を受け取り、氏名、住所、所属をご記入のうえ、会費3,000円をお納め下さい。
- (3) 当日会員……当日会員受付で記入票を受け取り、氏名、住所、所属をご記入のうえ、会費2,000円（学生 1,500円）をお納め下さい。

2. その他

- (1) 名札には所属、氏名をご記入いただき、会場では必ず着用して下さい。
- (2) 昼食は、附属小・中学校付近の飲食店（案内図配布）をご利用ください。なお、事情があって外出し難い方のために、弁当を若干用意しますので、当日、早目に御申出下さい（休憩・展示場で申しあげます）。
- (3) 懇親会の申し込み（4,000円）を受け付けておりますので、お誘い合わせの上ご参加下さい。
- (4) 評議員会ご出席の方は、昼食代1,500円を別途受付でお支払いの上、弁当引換券をお受け取り下さい。
- (5) 午後の公開討論会だけに参加される方は、会費は無料ですが、資料代として500円をお納め下さい。

・発表者へ

- (1) 前演者の口演が始まると同時に、各会場前方の次演者席に必ず着席して下さい。
- (2) 発表時間は8分間、討論時間は4分以内です。時間の厳守をお願いします。
7分で1回、8分で2回、ベルを鳴らします。
- (3) 各会場とも、発表は講演予稿集を用い、スライドは使用できません。配布資料がある場合は、少なくとも発表の30分前までに各会場の受付に提出して下さい。配布資料は100部程度ご用意下さい。また、写真等を回覧する場合は2～3部ご用意下さい。

・座長へ

- (1) 前座長の登壇後直ちに各会場前方の次座長席にご着席下さい。
- (2) 受付時間内の進行は座長にご一任しますが、1題あたり12分以内で進行されますようにお願いします。
- (3) 慣例に従って、学会通信用の座長のまとめをお願いします。

・懇親会参加者へ

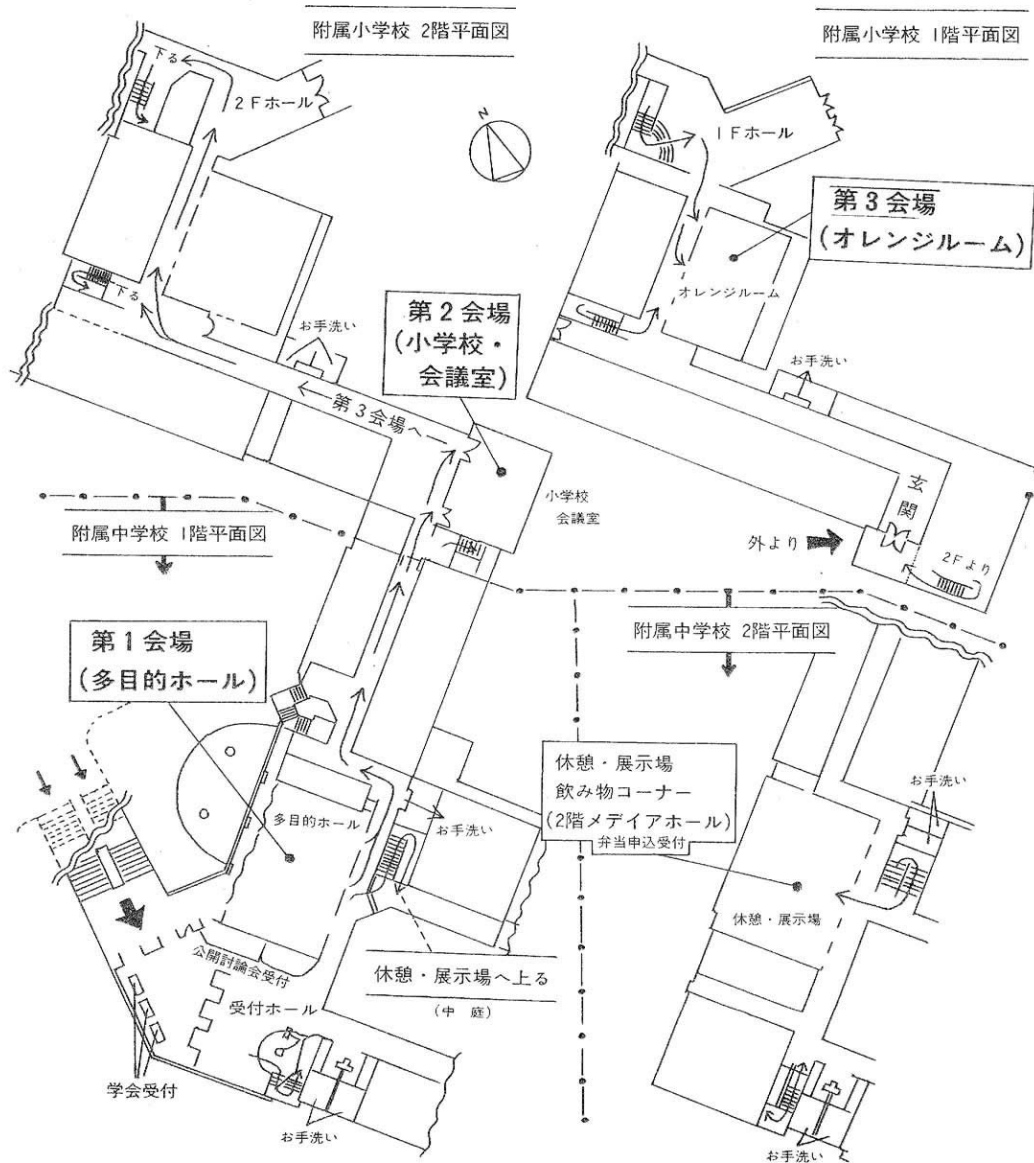
- (1) 会場は小・中学校から徒歩4分程の最寄（左頁の案内図、拡大図参照）です。17:30に始めます。多数の方々の参加をお待ちしています。

日 程

9:00	受付開始	
	附属中学校玄関ホール 学会受付 公開討論会のみへの参加者受付	
9:30	一般講演	オ1会場：附属中学校1F、多目的ホール(9:30~12:06) オ2会場：附属小学校2F、会議室(9:30~11:42) オ3会場：上全1F、オレンジルーム(9:30~11:18)
11:54		
12:15	評議員会(昼食を兼ねる) 附属小学校1F、オレンジルーム	昼食：附属中学校1F、多目的ホールまたは校外にて 展示会：附属中学校2Fメディアホール 休憩：上全
13:00		
13:10		
13:45		総会(附属中学校1F、多目的ホール)
14:00		休憩・展示(飲物を用意致します)
		公開討論会(附属中学校1F、多目的ホール) シンポジスト① 中村先生(14:10~14:35) 討論(14:35~14:45) 〃 ② 伊藤先生(14:45~14:35) 討論(15:10~15:20) 〃 ③ 堀内先生(15:20~15:45) 討論(15:45~15:55) まとめ：(15:55~16:00)
16:10		オ40回学会記念講演(附属中学校1F、多目的ホール) 招待講演者：上林先生
17:10		懇親会場へ移動(徒歩約4分)
17:30		懇親会：和歌山県地域医療研究センター2F、会議室にて
19:00		

会場案内図

和歌山大学教育学部附属 小・中学校



才40回 近畿学校保健学会プログラム

— 午 前 の 部 —

一般講演（講演8分，討議4分）

才1会場（教育学部附属中学校、1F多目的ホール）

生活・習慣（1）（9:30～9:54） 座長 柏井洋臣（和歌山市医師会）

- 101 児童の肥満と生活習慣 ～運動および食習慣に着目して～
○ 宮原時彦、北村陽英、江国朝子（奈良教育大学、学校保健研究室）
- 102 子どもの健康に感ずる調査研究 ～食生活の面からのアプローチ～
○ 橋本敏子、北野延子（彦根市立東中学校）

生活・習慣（2）（9:54～10:30） 座長 渡邊正樹（兵庫教育大学）

- 103 GOSHIKI HEALTH STUDY における FOLLOW-UPの基本DESIGN
○ 黒田種樹、川島 隆、蔡 羽、渡邊正樹、勝野真呉（兵庫教育大学、疫学・健康教育学研究室）、松浦尊磨（五色町健康福祉総合センター）
- 104 GOSHIKI HEALTH STUDY における 栄養調査：脂肪酸摂取量について
○ 川島 隆、黒田種樹、蔡 羽、渡邊正樹、勝野真呉（兵庫教育大学、疫学・健康教育学研究室）、松浦尊磨（五色町健康福祉総合センター）
- 105 GOSHIKI HEALTH STUDY 健康教育施上の課題と問題点
○ 北山敏和、勝野真吾（兵庫教育大学、疫学、健康教育学研究室）

保健指導（1）（10:30～11:06） 座長 森 道子（和歌山県教育委員会）

- 106 学級で気になる子と保健室
○ 岩本スミ子（堺市立百舌鳥小学校）
- 107 「いじめられ子」対応の一経験例（校医の役割）
○ 島津健三（大阪府医師会学校医部会）
- 108 保健室頻回利用高校生についての一調査
○ 北村陽英（奈良教育大学、学校保健研究室）

保健指導（2）（11:06～11:30） 座長 長谷川ちゆ子（西脇市立重春小学校）

- 109 乳幼児におけるアレルギー関連疾患発症の実態
～ 質問紙による把握と学校保健上の課題 ～
○ 宮原時彦、北村陽英（奈良教育大学、学校保健研究室）
- 110 児童・生徒のアレルギー疾患の現状とその対応
○ 瀬古竹子（浜松市立中部中学校）、稲川秀子（浜松市立佐鳴中学校）
外山貞子（浜松市立瑞穂小学校）、名倉宏美（浜松市立迫分小学校）
川畑愛義（日本生活医研）、瀬戸 進（大谷大学）

保健指導（3）（11:30～11:54） 座長 北村陽英（奈良教育大学）

111 いわゆる「ぜんそく」体質生徒のヘルスケアの試み

～ 学校行事（マラソン）とのかかわりの中で ～

○ 明瀬好子（神戸市立鷹匠中学校）

112 某小学校におけるアレルギー性疾患のセルフケアについて（オ3報）

○ 長谷川ちゆ子（西脇市立重春小学校）

オ2会場（教育学部附属小学校、2F会議室）

保健管理（1）（9:30～9:54） 座長 辻本信輝（和歌山県歯科医師会）

201 若年発症顎関節症の臨床的検討

○ 坂上卓也、宮田和幸、森田展雄、坂本忠幸（和歌山県立医大歯科口腔外科）

202 当科における小・中・高校生の顎、顔面外傷の検討

○ 小泉太郎、宮田和幸、森田展雄、坂本忠幸（和歌山県立医大歯科口腔外科）

保健管理（2）（9:54～10:30） 座長 山中 守（和歌山県医師会）

203 テンパノメトリを用いた中耳疾患スクリーニング

○ 川井典代（高槻市立庄時小学校）、島津健三（大阪府医師会学校医部会）

204 学校管理下突然死の原因としての脳動静脈奇形について

○ 杉浦守邦（蘇生会総合病院）

205 コンピュータ利用の学校事故事例共有システム開発の可能性について

○ 横尾能範（神戸大学国際文化学部）

発育・発達（1）（10:30～10:54） 座長 大山良徳（大阪大学）

206 女子高校生の自己申告とリコール法による初経年齢の比較

○ 後和美朝、竹内俊文、羅 維之、黒田基嗣、宮下和久、武田真太郎（和歌山県立医大衛生学教室）、平瀬悦子（武庫川高等学校）、松本健治（鳥取大学教育学部）

207 体格・6歳の偏差値による地域別年次の推移の特性 ～ 1995—1989年 ～

○ 瀬戸 進（大谷大学）、川畑愛義（日本生活医研）、吉村磯次郎、庄司博延（京都女子大学）、平野登志子（華頂短大）

発育・発達（2）（10:54～11:18） 座長 瀬戸 進（大谷大学）

208 大学、女子運動選手における利き側に関する研究

○ 萱村俊哉、尾原博子（武庫川女子大学・文学部）

209 高校生の易疲労性におよぼす体力・行動の影響

○ 美馬 信、岡崎延之、南口公恵（大阪女子短期大学）

保健分析（11:18～11:42） 座長 岩本謙三（和歌山県学校薬剤師会）

210 アルカリイオン水等の保健学的検討

○ 君羅 満（東京農大）、川畑愛義（日本生活医研）、瀬戸 進（大谷大学）小島広政（京都産大）

211 高速液体クロマトグラフィーによるヒト血漿アスコルビン酸（ビタミンC）の分析

- 葵 羽、黒田種樹、川島 隆、渡邊正樹、勝野眞吾（兵庫教育大学、疫学、健康教育学研究室）

予3会場（教育学部附属小学校、1F オレンジルーム）

結核感染（9:30～9:54） 座長 中村靖男（和歌山県医師会）

301 近畿地区大学生の肺結核の現状調査報告

- 永原ヨシ子、畑山悦子、猪尾和弘（和歌山大学、保健管理センター）

302 結核集団感染の事例報告

- 岡原 猛、竹中恒夫、加納 薫（堺市医師会）、更家 充、神木照雄（堺市中保健所）

エイズ（9:54～10:18） 座長 新村和哉（和歌山県健康対策課）

303 大学生のエイズに関する意識について

- 嘉藤弓子、兎島いづみ（神戸大学、養護教諭特別別科）

藤田大輔、南 哲（神戸大学、発達科学部）

304 AIDSに関する新聞記事の内容分析 ～ 1982から1992年までの記事件数 ～

- 平田 繁、渡邊正樹、勝野眞吾（兵庫教育大学、疫学・健康教育学研究室）

健康意識（10:18～10:42） 座長 山本公弘（奈良女子大学保健管理センター）

305 女子学生における喫煙関連疾患に関する知識

- 柳生善彦（奈良県吉野保健所）、山本公弘、北尾清美、植本愛子（奈良女子大学、保健管理センター）

306 高校生のいのちに関わる意識に関する研究

- 栗山千代美（京都市立正親小学校）、川畑愛義（日本生活医研）、瀬戸 進（大谷大学）、門田美千代（瀬戸内短大）、大木久和（池の坊短大）

保健調査（10:42～11:18） 座長 金井秀子（京都教育大学保健管理センター）

307 新構想教育大学大学院生の健康実態に関する疫学的研究

(1) CMIによる身体的及び精神的訴え

- 渡邊健郎、渡邊正樹、勝野眞吾、濱中良郎（兵庫教育大学、疫学・健康教育学研究室）

308 女子大生の健康観と身体機能の自己評価 ～ 摂食障害患者との比較を通して ～

- 早川滋人、古賀恵理子（琵琶湖病院）、小林豊生、中嶋照夫（京都府立医大、精神医学教室）、忠井俊明、金井秀子（京都教育大学）

309 教員の抑うつ度と仕事・生活要因 ～ 日本・オーストラリア教員の比較検討 ～

- 築山泰典、忠井俊明、松村由美子、金井秀子（京都教育大学）

総会：13:10～13:45（附属中学校 1 F 多目的ホール）

公開討論会（才40回学会記念）：14:00～16:10（附属中学校 1 F 多目的ホール）

【テーマ】 いわゆるアレルギー体質の指導を考える

司会 学会長 猪 尾 和 弘（和歌山大学教授）

【趣 旨】 アトピー性皮膚炎・気管支喘息・アレルギー性鼻炎など、いわゆるアレルギー体質の関与している疾患が急増しており、やがては国民病となりそうな状況です。学校保健担当者であれば、どの職域に就く人にとってもアレルギー体質の指導は悩み種だと思われます。近畿学校保健学会は第40回の記念行事として、上記のテーマにふさわしいシンポジストをえらび臨床研究歴の長い専門医から何が明らかで、何処で意見が分かれるのかを承り、学校保健の当事者としての当面の務めと職務上の限界をわきまえる機会に致したいと考えます。

【講演要旨】

【シンポジスト】 [1]

大分大学 保健管理センター教授 中 村 晋 先生

担当テーマ：アレルギー疾患発症予防の留意点

われわれの日常生活環境には数多くの感作性物質があり、これらを抗原としてアレルギー疾患が発症する。生体への抗原の作用臓器により鼻・結膜アレルギー、気管支喘息、消化管アレルギー、アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、さらに遅延型アレルギーの考えられる過敏性肺臓炎、接触性皮膚炎など種々の疾患（症状）が存在し、屢々交代し、また相互の合併して発現する。しかもこれらは加齢に伴いそれぞれの年代に応じた特徴を具備するので広い観点からの把握が必要で、生涯を通じた管理と control が求められる。

一方抗原物質も周知の如き家塵（だに）、真菌、花粉のほかそば、ペットほか動物の関与、食品、薬剤など case by case に異なり、抗原の診断とこれに対応する治療が要求される。

学校保健においてもこのような立場からのきめ細やかな配慮によりアレルギーの重症化・難治化を防止することは重要である。アレルギー予防も同様の観点から対策を講ずるべきであるが、私はこの機会にアレルギーの立場から職業指導への一考を提案したい。これまで40年来の研究によればわが国には既に114種の職業性喘息が知られ、かかる場合従業により職場内の抗原に曝露を繰返しているうちに感作が成立しアレルギー発症に至る。したがってアレルギー予防の観点から学校保健の上で児童生徒1人ひとりの抗体産生能を考えに入れた職業指導は極めて重要と考えられる。

[シンポジスト] [2]

医仁会 武田総合病院（京都市） 小児科部長 伊 藤 節 子 先生

担当テーマ：乳幼児における食物アレルギー予防のための生活指導

—特にアトピー性皮膚炎児を中心に—

食物アレルギーは、ソバ粉によるショックのように重篤なものから、わずかな皮膚症状に至るまで、さまざまな臨床症状をおこしうるとされています。

乳幼児期の食物アレルギーによる症状で最も多くみられるのはアトピー性皮膚炎ですが、わずかな量のアレルゲンによっても症状が出現するため、診断上の問題とアレルゲン除去食実施上の問題とを生じることになります。

そこで、アトピー性皮膚炎の乳幼児を対象として、食物アレルギーの関与の実態、食物アレルギーの治療の実態、食物アレルギー児の栄養調査の結果などを、自験例のデータからお示しし、アレルゲン除去食の適応、アレルゲン除去食実施の意義、患児および家族の Quality of Life を保つためのアレルゲン除去食実施上の工夫、スキンケアやダニ対策を含めた生活指導について述べる予定です。

[シンポジスト] [3]

大阪教育大学 教育学部保健学科 教授 堀 内 康 生 先生

担当テーマ：運動誘発性喘息と学校生活

運動誘発性喘息は急激な運動や長時間の運動後にゼロゼロ音を伴う呼吸困難な状態をいいます。比較的症状の不安定な喘息児によく起こります。正しい生活指導を行うことが症状の安定化に大きな意味を持ちます。クラスの友達との関係、授業への参加状況、校外学習への参加状況、体育の時間の状態などの学校での様子について学校で喘息発作を起こしても安心できるかについての調査結果を報告します。患者本人については治療状況、運動の工夫、家族の協力などの家庭生活の状況についての結果を報告します。これらの結果から保健室の利用方法や教室および体育の授業での扱いなど望ましい指導の方向について提言を行い、時間があれば食物依存性運動誘発性アナフィラキシーについても触れる予定です。

〈テーマ〉学校保健活動の過去・現在・未来

座長 武田真太郎（和歌山県立医科大学）

大阪成蹊女子短大 教授 上 林 久 雄 先生

〈趣 旨〉 戦後の学校保健活動は児童・生徒の身体的健康の保持・増進に関する疾病予防、とくに結核対策が学校保健管理と保健指導が中心であった。その後、わが国の急速な技術革新と経済発展は児童・生徒に環境汚染、運動不足、栄養過剰等にもともなう身体的な健康障害をもたらしたのみならず、生活環境の変容から精神的健康にも種々の問題が提起されるに至り、現在の学校保健活動はこれらの諸問題に対して学校教育の重要な一環として組織的活動が要請されている。今後、さらに予想される時代の変化に対応して、人間をたんに量的な存在としてではなく、質的な意味でも「トータルとしての人間」として把握した人間教育そのものを学校保健活動の重点に位置づけることが必要であろう。

平成5年度会費納入について

第28回近畿学校保健学会総会において学会会則が改正され、昭和57年度より恒久会員性を設けることになりました。当分の間、本会の目的に賛同され会員として会費を納入していただきますと、年2～3回学会通信および年次学会の講演集をお送りいたします。また、平成4年度年次会（於大津）での研究発表は共同発表者も含めて会員でないとできませんので、入会を希望される方および発表者（共同発表者も含めて）は平成5年度会費3,000円を学会事務所まで納入されますようお願いいたします。

平成5年度 近畿学校保健学会総会

近畿学校保健学会会員各位 殿

学会幹事長

会則第16条により下記のように学会総会を開催しますので、会員各位の参加を要請します。

記

1. 日 時 平成5年6月12日（土）13:10～13:45
2. 場 所 和歌山大学教育学部
附属中学校1F多目的ホール
3. 議 案 (1) 会務報告
(2) 平成4年度決算について
(3) 監査の依嘱について
(4) 会計監査報告
(5) 平成5年度予算案について
(6) 名誉会員の推挙について
(7) 次期（41回）学会開催地および会長について
(8) その他

以上

第40回 日本学校保健学会の御案内

年次学会長：訖間 晋平

1 期 間：平成5月11月25日（木）・26日（金）

2 会 場：横浜市中区山下町10番地及び周辺の関連施設

(Hotelホリデイ・イン横浜、Hotelニューグランド他)

3 日 程

6:45 7:00 8:30 9:00 10:30 12:00 13:15 15:20 17:20 18:00 20:30

11 月 25 日	受 付	アーリー バード セッション	受 付	共同研究 発表 シンポジウムⅠ (性教育)	研 究 発 表 等	総 会	講演会 * 研究 発表等	全 体 シンポジウム 「エイズ予防教育」 (仮題)	懇親会 (全体)
--------------------	--------	----------------------	--------	--------------------------------	--------------	--------	-----------------------	------------------------------------	-------------

(受付は8:30a.mからも行います。)[*Dr. J.FODER教授による国際パソコン通信デモ等を含む]

6:45 7:00 (8:30)9:00 10:30 12:00 13:00 15:20 17:20 18:00

11 月 26 日	受 付	アーリー バード セッション	共同研究発表 シンポジウムⅡ (発育発達)	研 究 発 表 等	教育講演会 *	シンポジウム 「小児成人病」 (仮題)	イーヴニング ディスカッション セッション
			小シンポジウム (教育保健)		等		

(ポスター・セッションも予定しています。)[*看護職種、養護教諭の専門性の向上をめぐる]

注：役員会等は11月24日（水）の午後、[13：00～15：00：理事会、15：10～17：30：評議委員会]

Hotelニューグランドにて開催。

役員懇親会は18：00～20：30 Hotelニューグランド「ペリー来航の間」にて開催の予定。

講演集原稿〆切：平成5年8月15日（土）

[送付先：〒239 神奈川県横須賀市野比5-1-1 国立特殊教育総合研究所・教育工学研究部

気付 訖間・斎藤・小孫] (FAX：0468-49-5563)